

すべての子どもに質の高い幼児教育を

文部科学省初等中等教育局幼児教育課課長 伊藤 学 司



去る6月に文部科学省初等中等教育局幼児教育課長に就任いたしました。

私立幼稚園関係の皆様には、それぞれの園において子どもたちの健やかな成長のために日々ご尽力いただいているとともに、地域における幼児教育の中心施設として、地域の幼児教育の発展・充実のために大変なお力添えをいただいていることに心より敬意を表します。

改めて申し上げるまでもありませんが、今、我が国の幼児教育は大きな変革の時を迎えています。

長年の検討を経て構築された子ども・子育て支援新制度が昨年度からスタートし、地域や園の状況を踏まえた新制度への移行が始まりました。今年度は、移行初年度に指摘された大規模園における公定価格の設定や事務負担の大きさなどの課題に対応するため、チーム保育のための加配加算や大規模園の事務職員・講師の加配加算などの見直しを行い、希望する園の円滑な移行のための環境整備を行いました。今後とも、皆様の声に耳を傾けながらよりよい制度となるよう改善を進めてまいります。

幼児教育無償化の段階的な取組もまさに現在進行中です。今年度は一定の年収以下の世帯の「多子計算の年齢制限」を撤廃するとともに、ひとり親世帯等の保育料の無償化を進めました。来年度に向けても、「一億総活躍プラン」や「骨太2016」において幼児教育の無償化を段階的に進めることを閣議決定しており、今後、財源を確保しながら無償化を更に進めてまいります。

こうした取組に加え、子どもが成し遂げなければならない最も大切なことは、幼児教育の「質」の向上を図ることだと考えています。幼稚園における教

育の質を高めるため、現在、新しい時代にふさわしい幼稚園教育要領の見直しに向けた検討が佳境を迎えています。中央教育審議会の答申を経て、今年度内には新たな幼稚園教育要領を告示できるよう準備を進めていますが、小学校以降で育成すべき資質・能力を見据えながら、子どもたちに未来社会を切り拓いていく力の基礎を育めるような幼稚園教育の質の向上につながる改訂を目指してまいります。

また、国や地方公共団体における幼児教育推進体制を構築・充実するため、この4月に国立教育政策研究所に幼児教育研究センターを設置するとともに、都道府県や市町村に幼児教育センターの設置や幼児教育アドバイザーの育成・配置を進めるためのモデル事業を新たに開始しました。

さらに、幼児教育の重要性は、世界的にも大きな注目を集めており、OECDなどでも幼児教育分野に関する国際的な共同研究が動き出しています。

このように、今、幼児教育は大変革期を迎えています。しかし、変革は幼児教育だけが迎えているわけではありません。子どもたちを取り巻く未来社会自体が、これから大変革を迎えていくのです。

今、幼稚園にいる子どもたちは、そうした大きく変革する社会の中で成長し、2050年を働き盛りの30代後半で迎え、そして多くの人々が22世紀を迎えます。大きく変わる社会を主体的に生き抜き、そしてよりよい社会を創っていくために、必要となる資質・能力の基礎を幼児教育段階でしっかりと培っていくことができるよう、「すべての子どもが質の高い幼児教育を」という目標をしっかりと胸に刻み、幼児教育行政に全力で取り組んでまいります。皆様方のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

河村建夫会長を再選

平成 28 年度事業計画・収支予算などを決議

7 月 1 2 日 東京・グランドヒル市ヶ谷

7 月 12 日、東京・グランドヒル市ヶ谷において全日本私立幼稚園 P T A 連合会の平成 28 年度委員総会が開催され、委員約 90 人が出席しました。

岡澤邦幸・全日私幼 P 連副会長の開会のあいさつに続いて、遠藤利明・全日私幼 P 連副会長、山本順三・全日私幼 P 連副会長、香川敬・全日私幼連会長からあいさつをいただきました。続いて、山谷えり子参議院議員、自由民主党幼児教育議員連盟事務局次長よりごあいさついただきました。

その後、議長に岡澤邦幸・全日私幼 P 連副会長を選出し議事に入りました。

議事では、議題①役員改選の件 ②平成 27 年度事業報告・収支決算の件 ③会務監査報告 ④平成 28 年度分担金の件 ⑤平成 28 年度事業計画案・収支予算案の件 ⑥会則改正案の件 について執行部から詳細な提案があり、満場一致で議決されました。

議題①役員改選の件では、会長に河村建夫氏（山口県）、最高顧問に森喜朗氏（石川県）の再選が満



場一致で議決されました。副会長には遠藤利明氏（山形県）、山本順三氏（愛媛県）、岡澤邦幸氏（北海道）、金重光江氏（埼玉県）、月本喜久氏（東京都）、山本宗五郎氏（滋賀県）、河津勇成氏（大分県）が選任され、満場一致で議決されました。

金重光江・全日私幼 P 連副会長の閉会の挨拶があり、本総会を終了しました。

新刊 動かして遊ぼう！
**びっくり！おもしろ
しかけ遊び**

ねじれた輪ゴムのしかけや、転がるしかけ、曲がるストローのしかけなど、シンプルなしかけで愉快的な動きを楽しもう！不思議な力と触れ合って遊べます。

立花愛子 佐々木伸 著
定価 2,160円(税込) 26×21cm／80ページ
発行・発売 チャイルド本社

● **※ 好評既刊 ※**

- びっくり！おもしろ紙遊び
- びっくり！おもしろ砂遊び
- びっくり！おもしろ空気遊び
- びっくり！おもしろ水遊び
- びっくり！おもしろ光遊び

平成 28 年 秋の全国交通安全運動

内閣府では、交通事故防止の徹底を図ることを目的に秋の交通安全運動を実施しています。28 年秋は、「子どもと高齢者の交通事故防止」を運動の基本とし、夕暮れ時と夜間の歩行中・自転車乗用中の交通事故防止、全ての座席のシートベルトとチャイルドシート着用の徹底、飲酒運転の根絶を全国重点として、普及啓発活動を全国各地で一斉に行います。

- 運動期間：平成 28 年 9 月 21 日～ 30 日
- 交通事故死ゼロを目指す日：9 月 30 日（金）

「家族の日」「家族の週間」

内閣府では、生命を次代に伝え育んでいくことや、家族の大切さ、家族を支える地域の力に対する国民の理解を深めることを目的に、平成 19 年度から 11 月の第 3 日曜日を「家族の日」とし、さらに、その前後 1 週間を「家族の週間」と定め、この期間を中心として、全国大会の開催など様々な啓発活動を展開し、家族や地域の大切さ等について理解の促進を図ります。

- 家族の日：平成 28 年 11 月 20 日（日）
- 家族の週間：11 月 13 日（日）から 26 日（土）

11 月は、児童虐待防止推進月間です

厚生労働省は毎年 11 月を「児童虐待防止推進月間」と定め、児童虐待問題に対する社会的関心の喚起を図るため、集中的な広報・啓発活動を実施しています。期間中は児童虐待防止のための広報・啓発活動、オレンジリボン・キャンペーンの推進、フォーラム等の開催などの取り組みを集中的に実施します。

詳しくは厚生労働省のホームページをご覧ください。

第 32 回 全日本私立幼稚園連合会 設置者・園長全国研修大会

全日私幼連の第 32 回設置者・園長全国研修大会は、来る 10 月 17 日（月）・18 日（火）の 2 日間にわたって、石川県金沢市で開催します。

研修会の内容等の詳細につきましては、決まり次第あらためてご案内いたします。

日程：10 月 17 日（月）・18 日（火）

会場：石川県金沢市・ANA クラウンプラザ
ホテル金沢

(株)学研教育みらい

東京都品川区西五反田 2-11-8
幼児教育事業部

お問い合わせは 0120-833-415
フリーダイヤル

園ぴゅう太のメールサービス



サーバー二重化！

らくらくメール
園から保護者へらくらくメール送信！
組別・個別送信、既読確認もできます。
サーバー二重化で、いざという時も安心です。

スマホで

らくらくバスメール
スマートフォンでバスメールを送信！
大きなボタン表示で画面操作もらくらく。
タップするだけでメール送信できます。



**心機一転！
リニューアル**

**オリジナル！
キャラクター
ロゴ**

**Flashで
動画！**

らくらくホームページ
目的やご要望に合わせて作成し、学研が更新
もお電話・FAXで対応します。
「お知らせ更新は園で…」というご要望にも
システム併用でご対応いたします。

平成 28 年 7 月

各 位

全日本私立幼稚園連合会
会 長 香川 敬

平成 28 年熊本地震における義捐金の御礼

盛夏の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびの平成 28 年熊本地震における義捐金につきましては、全国の保護者の皆様、加盟園の設置者・園長、教職員の皆様等より大変多くのお心のこもったご厚志を頂戴いたしました。

お陰をもちまして義捐金は総額 151,954,241 円に達しました。皆様のご協力にあらためて御礼申し上げます。

全日私幼連では、一日も早くお届けすることを基本に、義捐金の拠出について会議等で決定した方針に従って、被災県私立幼稚園団体へ全額送金を行ないました。

謹んでここにご報告申し上げるとともに、関係者の皆様方には、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。

以 上



受配者指定寄付金制度を利用して、学校法人立の私立幼稚園へ寄付を行うと、寄付者（企業・法人）は法人税法上の優遇措置として**全額損金算入**することができます。

ご利用には一定の要件があります
まずは、下記までお気軽にご相談ください

日本私立学校振興・共済事業団
助成部 寄付金課
〒102-8145
東京都千代田区富士見 1-10-12
TEL 03-3230-7317・7318
e:mail kifukin@shigaku.go.jp
HP-URL <http://www.shigaku.go.jp/>

寄付金募集の際には日本私立学校振興・共済事業団の
受配者指定寄付金制度 をご活用ください

はじめてみませんか
寄付金募集

寄付金は私立学校の
重要な収入源です！

※平成27年4月より、子ども子育て支援施設（学校法人が設置する幼保連携型認定こども園）支援のための寄付金もこちらの制度の対象となりました！

台湾・臺北市立大學幼兒教育系幸曼玲副教授／講演概要

カリキュラム改革の中でのリーダーシップ

今号より、台湾の臺北市立大學の幸曼玲副教授による、「カリキュラム改革の中でのリーダーシップ」についての講演概要を掲載します。

【台湾の園長資格研修】

今回は、中国大陆での園長の研修システムに引き続き、台湾の園長資格研修の方法を紹介します。台湾では2012年に幼保を一体化した後、園長の研修システムを計画し、資格研修の方法が公布されました。この園長研修は、これから園長先生になる保育者たちの資格研修になります。園長資格は、現職の保育者であり、3年以上の経験年数を持つ保育者が対象となります。

この園長研修は合計180時間の課程を組み、以下の7分野に分けられます。



1. 就学前幼児教育の政策及び法令（18 時間）
2. 園の業務行政の課題及び実践（36 時間）
3. 幼児教育の課題及び実践（36 時間）
4. 人事管理専門（18 時間）
5. 書類及び財物の課題及び実践（18 時間）

秋田喜代美先生の3部作

各巻B6上製判
定価：本体
1,200円（税別）

L66600

保育の心もち

秋田 喜代美

保育の心もち

保育に携わる姿勢・「心もち」をさまざまな視点からわかりやすく解説。すべての保育者のための日めくりカレンダーのような優しい本です。

L66900

保育のおもむき

秋田 喜代美

保育のおもむき

何気ない保育の場面や子どものようすから、筆者が心動かされたことや、環境を通して行なう教育としての日本の保育の良さ、それぞれの園がかもし出す「おもむき」を味わえる。保育に携わるすべての人の心に響くコラム集です。

L65800

保育のみらい

秋田 喜代美

保育のみらい

保育制度改革の真の意味を問う書き下ろしを含む、いつもの保育にプラスになる珠玉のアンソロジー！ 保育の大切さが伝わる、読みやすくまとめられた日本教育新聞他の連載を中心に単行本化したものです。

ひかりのくに株式会社

本社／〒543-0001 大阪市天王寺区上本町3-2-14 TEL.06-6768-1151代表
支社／〒175-0082 東京都板橋区高島平6-1-1 TEL.03-3979-3111代表

6. 健康安全管理及び危機処理 (36 時間)
7. 園と保護者交流の課題及び実践 (18 時間)

この内、「3. 幼児教育の課題及び実践」は、6つの内容に分かれており、その中で一番重要なのが「学習コミュニティの成立と実践事例」になります。この学習コミュニティの成立が、これから話題とするカリキュラムのリーダーシップにとって、重要な概念になります。

【台湾の幼稚園の現状】

台湾において 2012 年の幼保一体化後は、以前の幼稚園と託児所が統一され「幼稚園」と呼ばれるようになりました。台湾全土の幼稚園数は 6,468 園になります。幼稚園は公立・私立・非営利幼稚園の 3 種類の形があります。

政府は、公立と私立の現在の比率である 3 対 7 を変えようと、非営利幼稚園数を増加させる方針を進めています。非営利幼稚園は、公的な機関と公益法人の資源を結合した官民協力方式で開かれる幼稚園です。2014 年から 2018 年の 4 年間で 100 園の非営利幼稚園を設立する政策を設けました。現在は台湾全土における非営利幼稚園は 10 園だけです。もっと増加させようと政府は考えています。

公私立幼稚園保育者の数及び比率については、右の表 1 のようになります。この数字を示した理由は、

	公立/附属幼稚園	私立幼稚園	非営利幼稚園	保育者総数
園長	231** 5% 1.8%	4,185 94.6% 12.9%	9 0.2% 7.3%	4,425 100% 9.8%
幼児教諭	6,694 54.2% 51.9%	5,873 47.5% 18.1%	24 0.18% 19.4%	12,360 100% 26.7%
保育士	5,707 22.2% 44.2%	19,940 77.4% 61.3%	90 0.4% 72.6%	25,753 100% 56.8%
保育士助手	276 9.9% 2.1%	2,521 90.1% 7.8%	1 0.04% 0.8%	2,798 100% 6.2%
保育者総数	12,908 100%	32,519 100%	124 100%	45,336 100%

▲表 1

幼児教諭	保育士
・ 四年制大学幼児教育専攻卒業 ・ 大学卒業+幼児教育課程 ・ 半年全日実習 ・ 教師検定試験(国家資格) ・ 幼児教諭免許(CERTIFICATE)	・ 二年制専門学校幼児保育専攻 ・ 四年制大学幼児教育専攻(非師範系) ・ 四年制技術職業大学幼児保育専攻 ・ 大学幼児及び家庭関連専攻 ・ 卒業証明書(DIPLOMA)
養成課程が異なることで課程改革において問題が起り、カリキュラムリーダーは多くの挑戦に臨む	

▲表 2

台湾の公立と私立の保育者の割合の違いが、今後遂行する教育要領や研修システムに対して非常に大き

地域で生き残る園になるためのサポートブック



ISBN978-4-577-81396-6

769

園のリーダーのために 保育ナビ

管理職向け月刊誌

定価：本体価格 926 円 + 税

B5 判 72 ページ

2016 年度 9 月号の主な内容

- **保育ナビスペシャル対談** 今月は北京オリンピック競泳銅メダリストで現在はテレビ等で活躍中の宮下純一さんに、子どもやチームの可能性を広げるために大切に思うことをお聞きしました。
- **特集 子どもを物語る** ～同僚・保護者・地域と子どもの魅力を分かち合おう！～
「子どもを物語る」という営みは、保育者に喜びややりがいをもたらします。本特集の前半では 3 つの事例から「子どもを物語る」ことについて考え、後半では対談を通して園内外と語りを共有していくことの価値を考えます。
- **今日からできる！ より良い職場づくりの工夫**
創造的な保育を展開するためには、互いの得意分野を認め、伸ばしていける職員集団を目指すことが大事です。

本社：〒113-8611 東京都文京区本駒込 6-14-9 <http://www.froebel-kan.co.jp>
ご注文・定期購読のお申し込みは 03-5395-6608 保育営業部まで

キンダーブックの **フレーベル館**

な影響力を持つ要素となるためです。

また幼児教諭と保育士との差異については、表 2 のようになります。

幼稚園と託児所が統合された後の幼稚園に就園する幼児の数については、3 歳以上、主に 5 歳の子どもを扱っている園を見ると、2・3・4 歳児の数は私立幼稚園の方が公立より多くなっています。5 歳以上の子どもの 80～90%、4 歳から 5 歳の子どもたちの 80%以上が園に入ります。また 3 歳から 4 歳の子どもは約 50%、2 歳から 3 歳の子どもは 20%が園に入っています。

【台湾の幼稚園のカリキュラム改革】

台湾では 2012 年に幼稚園の教育要領を公布しました。この教育要領を実施するためにカリキュラムの指導計画もあります。幼稚園のカリキュラム指導及び推進計画は 2013 年からの 3 年間で行いました。

私（幸曼玲氏）は、台湾のカリキュラム指導及び推進計画の総責任者を務めています。台湾全土を 6 つの地域に分け、地域ごとに複数人のスーパーバイザーをおきます。現在、台湾全土にスーパーバイザー数は約 200 人います。定期的にそのスーパーバイザーが、幼稚園に観察や指導を行います。スーパーバイザーを受け入れたいという申請を自主的におこ



なう幼稚園もあります。スーパーバイザーの多くは大学の幼児教育専門の先生です。受け入れ幼稚園ごとにスーパーバイザーを 1 人置き、園内でカリキュラムリーダーを育成していきます。3 ヶ月ごとにスーパーバイザーが地域に入り、各園の問題解決に取り組みます。公立幼稚園・附属幼稚園と私立幼稚園は、上の図のような状況にあり、保育者、スーパーバイザー、カリキュラムリーダーとが、それぞれの園の学習コミュニティの成立を目標に改革を行っていきます。

（次回からは、幼稚園のカリキュラムのリーダーシップについて報告します。）

（つづく）

（兵庫県尼崎市・認定こども園七松幼稚園園長／
亀山秀郎）



新しいものを見るたび、触れるたび、
目覚ましく成長する子どもたち。
子どもたちにとって、毎日が成長の舞台です。
育む環境で、子どもたちの明日は変わる。
だから、私たちは大切なことを「環境」から考えます。
好奇心や想像力、勇気や感動。
そして、子ども同士の関わり合い。
子どもたちが大切な時期に、確かな一歩を踏み出せるように、
最良な環境の未来をつくりあげていきます。

こども環境の未来をつくる



シクエツ

「テーマ：遊びの発展と生活発表会」

○佐藤千華（西鎌倉幼稚園教諭）、君島眸（西鎌倉幼稚園教諭）、太田麗奈（西鎌倉幼稚園教諭）

1、研究目的

毎年三学期に行われる生活発表会。一年間、園生活で楽しんだことを取り入れクラスごと劇を作り発表する。ここ数年の保育の見直しにより子ども達は自分たちで遊びを広げ、深めながら過ごせるようになってきた。その主体的に関わる姿や気持ちを劇作りや舞台上でも十分に発揮できるよう保育者は援助し活動を進めている。昨年度、遊びから劇づくりへと発展した2クラスの事例をもとに日々の保育と生活発表会の繋がりを考えていく。

2、事例①4歳児（空組 30名）

「遊びから広がるおばけの世界」

○おばけの始まり

6月中旬

室内遊びが発展し始めた梅雨の時期、クラスの数人がおばけごっこを始める。しかし、遊びは発展せず。保育者が子どもの作ったおばけをぶら下げたり、おばけへの気持ちが途切れないように工夫をした。

9月中旬

運動会も終わりみんなで一つのものを作り始める。「部屋を暗くしたい」「窓になにか貼りたい」子どもたち自身で遊びを展開し広げていく。

○アンチおばけ派の登場

しかし可愛いものが好きな女の子たちは「おばけ？怖いしやりたくない」とコンサートごっこを続けていた。

○開店！おばけやしき

10月下旬

年長さんのお店屋さんごっこに刺激を受けクラスでもお店屋さんをしようと話し合う。おばけやしきをやりたい声が多かったが子どもの意見を受け、おばけやしきとレストラン(アンチおばけ派)を行う事になった。

11月下旬

それぞれ準備を進めるが、お互いのお店も気になる様子。相互に刺激を受けられるようにリニューアルの提案や、活動の紹介、クラスでの話し合いなど最終日まで興味を持てるよう工夫した。そしてお店

として運営出来るかではなく、子ども達一人ひとりが好きな事を見つけ、思う存分楽しんだ。

○閉店後

子どもたちのおばけへの興味が続き、表現あそびへと盛り上がっていった。三学期の生活発表会では、おばけを題材にしつつも“おばけ”だけにならないようなストーリーを考えた。

おばけになりきりたい子、人間としておばけを楽しみたい子に分かれ、劇を作っていく、最終的に全員がイメージを共有しておばけの世界を楽しんだ。



<考察>

四歳児だからこそ、ただ主体性を重視するのではなく、遊びが停滞しないように援助が必要なところは積極的に保育者が関わった。おばけだけに当てはめて保育を進めるのではなく、アンチおばけ派の思いも大切に柔軟に取り組んだ。

子どもたちの「こうしたい！」「やってみたい！」が「できた！」「楽しい！」という経験の積み重ねとなっていくことで、一年間子どもたちとおばけの世界を楽しむことができたのではないかな。それによって活動への意欲が高まり、子どもたち主体の遊びの発展が見られた。

保育者は表出しきれない子どもの気持ちに寄り添いながらも、それらを引き出す工夫も大切である。

また、一つにまとめることばかりではなく、それぞれの興味関心を受け止め取り入れるなど、活動を柔軟に展開させていくことの必要性を感じた。



メモを活かした保育

発表者 学校法人 亀阜学園
亀阜幼稚園 松田 由紀子 上原 絵里

1. メモを活かした保育を実践している理由

幼稚園教育要領に、幼児の生活する姿や発想を大切に、常にその環境が適切なものとなるようにすること、環境を通して行う保育は『教師の考え・意図』と『子どもの主体性』がバランスよく絡み合って成り立つと記述されており、よく行われている教師の「させる保育」から脱出しようと考え、メモを活かす保育を実践することにした。

子どもの発想・思い・感覚・態度のすばらしさを保育に取り入れる方法が「メモを取り入れた保育」であり、どの教師もよりよい保育のあり方を実践し、研究できると考え、実践している。メモは一人ひとり、小さなメモ用紙を常に持ち、ちょこっと(1メモ 10文字くらいで)書く。そして、放課後などの空いた時間に、そのメモに状況や教師の思いを付け加える。メモを貼って、その子どもの思いや考えなどを見直し、その子どもへの言葉かけや保育に活かしている。

2. 保育中にメモをとることで、どんな効果があったか

教師が一人ひとりの子どもをどう育てたいか、ねらいをしっかりと持ち、主体的な活動の担い手の子どもの姿を保育に取り入れることによって、意欲的な学びへと進んでいくようになった。また、保育をどう展開したらよいか、考えるヒントにもなっている。

メモを取る前は、目の前の子どもの行動の意味や、その子どものよさや可能性がわからないことがあった。メモを取り始めてからは、子どもの見方が変わり、その子どもの考えや発想を肯定的にみるようになり、子どもを信じて、保育を進めるようになった。さらに、子どものちょっとしたことば、表情などの中にヒントがあり、メモを活用することによって、自分の保育を見直し、教師間での学び合い、保護者連携にも役立っている。

昨年度までは、保育中にとったメモを日付ごとにノートに貼り、整理していた。保育中にメモをとるだけでも、子どものちょっとした言動を見すごさず、子どものよさが見える教員になってきたし、子どもの発想を取り入れた保育ができるようになってきた。

3. 実践

今年度は、保育中のメモを個人毎に整理し、保育を振り返ることにした。すると、子どもの姿を連続的に見ることができ、子どもの言動の中に成長や特長が発見でき、その子へのかかわり方も一層見えるようになってきた。また、その子の立場で子どもを語れ、保護者の連携を深めることが一層できるようになってきた。



(1) メモを貼ることによって成長が見られる

5 歳児の K くん。虫や生き物にとっても興味があり、4/20「虫をここに入れて。」、4/23「こんなに集まった。」とのメモから、年度始めは生き物を虫かごにたくさん集めることに喜びや面白さを感じている姿が見られた。5/8「ちょうちょうの羽がやぶれてきたからちょうを逃がす」、6/8 育てていたカニが死ぬ→「僕たちが世話しなかったからや。」のメモから、生き物をたくさんつかまえる喜びから生き物の命や生き物を大事に育てていくことに喜びや責任を感じるように成長していることが見えてきた。

4 歳児の S くんは友だちに手を出す、おもちゃを投げるなど自己中心的な行動が目につきがちだった。担任は、S くんの手を振り返ってみると、みんなで泥だんご作りをした時、泥が手につく面白さを発見し、滑り台にスタンプしたり、発表会に来てくれたお客さんに対し、「来てくれてありがとう。」と感謝の言葉を伝えたりする姿が見られた。自己中心的な行動ばかりではなく、活動に対し、自分なりによく考え、遊びを広げようとする姿を発見することができた。

(2) 子どもへのかかわり方に活かす

3 歳児の A くんは、園生活に慣れず、「これはどこに片付ける？」と声をかけても無表情が多かった。そこで、担任は問いかけではなく、身の回りのことを一緒に手伝ったり、側で見守ったりする援助と、それに対する A くんへの反応をメモし、振り返ると、どんなふうに援助したらよいか、どうすれば A くんが自分で片付けする子どもになるかを発見することができた。

(3) 団だよりや掲示板や連絡に活かす

「みんなで世話しないと。」と虫かごを掃除する姿や、友だちと協力しておみこしを作る姿など、メモしたことを具体的に毎月の団だよりでお知らせすることで、親子の会話のきっかけとなり、成長した様子を保護者と一緒に共有することができる。

また、保護者の目によくふれる靴箱のうえの掲示板で、写真や具体的な様子を掲示しておくことで、送迎時や懇談の時、次第に立ち止まって見る保護者が増え、園で実践している活動に興味をもってくれるようになる。

メモした日々の様子を丁寧に保護者に伝えていくことで、園と家庭が連携し、子育ての課題を解決したり、悩みを共有したりすることができるようになっている。

4. 今後の課題

保育中にとったメモを、個人毎に 5 領域に分けて整理してみると、一つの領域に関するメモが多かったり、メモをとれていない子がいたりして、子どもを見ているようで見られていない部分がある課題に気づくことができた。今の子どもの姿と育てたい子ども像を常に照らし合わせながら、明日の保育に向け、いつ、誰の、どんな姿を見ていくかを考えメモを取り、一人ひとりの子どもを丁寧にみていくことを今後も大切にしていきたい。

保育のリーダーに求められるもの ～園の課題を明らかにし解決していく力に着目して～

○波岡千穂（堀川幼稚園） 原田由美（いずみ幼稚園） 開仁志（金沢星稜大学）

1 目的

本研究は、現場で質向上を担う保育のリーダーの「園の課題を明らかにし解決していく力」に着目し、その内容について明らかにすることを目的とする。

2 結果及び考察

(1) 富山県におけるリーダー育成プロジェクト ～公開保育コーディネーターとして～

堀川幼稚園 副園長 波岡千穂

H26,27 東海北陸教研大会 分科会テーマ「保育のリーダーを育てる」研究に取り組むため「リーダー育成プロジェクトチーム」を立ち上げ、まず H26 年 5 月、園の課題をどうとらえているかについて県内私立幼稚園 54 園に対して次のようなアンケート調査を行った。

【アンケート】	
○対象	県内私立幼稚園54園
・園長	
・主任（教頭、主幹教諭）	
・保育のリーダー（担任をもつ現場のリーダー）	
○内容	
・園の課題について	
・保育のリーダーに必要な資質能力について	
・身に付けるための取り組み	
・取り組むためには	

アンケート集計結果より立場の違いからくる特徴が明らかになり、課題意識、課題内容が共有できていないことこそが、園の課題ではないかと考えられた。そして「各園で課題を見出し、その解決に向けて、何をどう取り組んで行けばよいか」については、①園内研修の充実 ②職員間の関係性、同僚性を高める ③研修会への参加などは三者共に多く出た意見だった。それぞれの立場で課題はあるが、課題解決に向けて取り組むためには、話し合える土壌づくり、職員間の同僚性が大前提と捉え、各園が園内研修に取り組めるため次のような方法で研修を進めた。

課題解決に向けて	
【平成26年度】	
○富山市園長会	・アンケート集計結果 ・園内研修の提案(ワークショップ)
○富山市全体研修会(保育実践者全教員)	・幼児理解のための園内研修(安達謙先生ワークショップ)
【平成27年度】 ※具体的内容は図1参照	
○富山市幹事会(主任研修会)×3回	
○富山市推進委員会(中堅研修会)×3回	
○富山県園長主任研修会×2回	・保育現場の質を高めるために(園内研修の必要性) (岡健先生ワークショップ)

富山市主任研修会(第1回)	・アイスブレイク ・ワークショップ「園内研修の実践」(田の宇法)
富山県園長主任研修会(第1回) ※岡 健先生	保育現場での質を高めるために① ～なぜ園内研修か、なぜ推進者が必要か～ AM:園長・主任対象…理論 PM:主任対象…園内研修手法を学ぶ 「写真を用いてお便利作り」 次回まで園で取り組んでみよう！
富山市主任研修会(第2回)	・アイスブレイク ・グループ討議「園内研修(写真を用いて)取り組めた？」 ・ワークショップ「園に必要・必要ないもの」 (行事、保育の見直しのヒントとして)
富山県園長主任研修会(第2回) ※岡 健先生	保育現場での質を高めるために② ～園内研修を推進するために何が重要か～ AM:園長・主任対象…理論、ビデオカンファレンス PM:主任対象…模擬園内研修(ファシリテーションを学ぶ)
富山市主任研修会(第3回)	・アイスブレイク ・ワークショップ「園内研修振り返り」(ランキング) ・これまでの5回の研修を通して ・今後自分にできること

図1 平成27年度の具体的内容

【考察】

富山県園長主任研修会で岡先生に「次回までに取り組む課題」をいただき、確認し合える場を設けることで、確実に各園で取り組むことができる体制ができた。また、各園の現状を立ち止まり、見つめ直す機会となった。さらに、アンケートへの取り組み、研修を通して園内研修の必要性を感じ、各園で園内研修への意識、意欲、主任のファシリテーターとしての意識が高まってきた。

【今後の課題】

公開保育コーディネーターとして公開保育という形ではないが、富山市私立幼稚園全園で「自園の良さに気づく、課題を見出し解決に向けて取り組む」ための体制作り、園内研修に取り組むことへのサポートができたと思う。踏み出せた一歩を無駄にしないために今後継続して取り組むこと、また県全体でも取り組むことが課題と思われる。富山市私立幼稚園中堅研修会、主任研修会にて「園内研修」を学ぶ2年次プログラム開発に向けて、また他の地区での研修体制の構築を検討していきたい。

(2)自園の体制づくり

いずみ幼稚園 教頭 原田由美

① 主任の引き継ぎ

主任を引き継ぐ時が来た(平成 27 年 4 月)

16 年間主任の交替が無く、勤続 15～20 年を迎える教諭が出てきた。そんな中で、教諭の質の向上を考えると、中堅やベテランには組織全体に関わるような大きな役割をもたせ、もっとやる気を引き出したい。また、若手の育成に対する使命感も高めていってほしいと考えていた。さらに、創立以来、園長が理事長も兼務していたが、昨年度途中に新理事長が就任し、今年度から教頭職ができる等、組織構成に変化があった。

新主任との気持ちのズレ

教頭(前主任)は、新主任が戸惑わないようにと、以前から次に主任を任せたいと話したり、主任の補佐として仕事を手伝ってもらったりしてきた。ところが、実際に辞令が降りた新主任は、「心の準備ができていない」「担任をしながら主任の仕事ができるだろうか」「主任の近くで見てきたつもりだったが、いざ自分になると何もわからない」等と強い不安を感じていた。

ズレの原因を探る

〈原因 1、主任に選ぶ理由や期待を本人に伝えてない〉
→そこで、教頭から、新主任に選んだ理由と期待していることを話した。また、担任(兼学年リーダー)と主任を兼務する負担を考え、他の教職員たちにも協力するように話した。

→その結果、新主任の気持ちが前向きに変わった。

〈原因 2、主任の仕事を具体的に教えていない、

原因 3、教頭と主任の役割が明確になっていない〉

→そこで、勤務マニュアルを見直すことにした。

② 勤務マニュアルの見直し

今年度の課題

- 随時見直しをしていたが、全教職員が参加しての見直しはしておらず、十分な共通理解がされていない。
- 新しくできた教頭と主任の役割をよく話し合い、明確にしたい。
- 子ども・子育て支援新制度がスタートしたことで、これからの園づくりを考えていきたい。

見直しのポイント

- 役割分担をするだけでなく、具体的に動くための行動指針となるような記述にする。
- 変えなければならないものや新しく加えたいものと、変えてはいけないものを吟味する。
- 現状やこれからの幼稚園運営と、教職員育成に必要なことを考える。

【考察】

・教頭と主任が、リーダーとしてそれぞれの立場を考えていく中から、改めて自覚と責任感が生まれた。

・新たな役割(役職)をもたせるだけではなく、頑張りや成長を評価し、保育のリーダーとしての役割を与えられた理由や期待を伝えることがやる気につながる。

・役割(役職)に着いた途端に完璧に仕事をこなせるわけではない。教頭は、新主任の成長を支え援助していくことが必要である。

- ・教頭と主任が、自分たちの仕事について話し合う過程そのものが、園運営や園づくりで保育のリーダーに求められるものについて考えることにつながった。
- ・全教職員が見直しに参加することで、上位下達の受身ではなく、自分たちの課題として捉えていく姿が見られ、将来保育のリーダーとして主体的に考え行動するための大切な経験になった。勤務マニュアルは守ることだけに意義があるのではなく、園が大事にしてきたことを確認し、意見が違った時も話し合い、共通理解するためのツールとしての意義もある。
- ・若手も勤務マニュアルを読んで、教頭や主任の仕事を理解することは、将来保育のリーダーになるための意識づけにもなると考える。

【今後の課題】

- ・異動や制度の変更等、大きな変化がなくても、毎年度初めに全教職員で勤務マニュアルを読み合わせて確認し、改めて園として大切にすることを共通理解すると共に、必要な部分の見直しを進めていきたい。
- ・職員構成の変化や役職の交替等、大変な時こそ園の質向上のためのチャンスと捉え、園の課題を一人一人の意識に位置づけ、協働し解決していきたい。
- ・一人一人の経験や良さを認め合い、ベテラン、中堅、若手に適した指導助言を行い、育ち合う教職員集団を目指していきたい。

3 まとめ

「園の課題を明らかにし解決していく力」とは、園の課題に気付いて可視化し、課題を職員全体で共有し解決していく成長する保育者集団をつくりあげていく力であることが明らかになった。今後ますます保育のリーダーに求められるものであると考える。



新制度移行後一年、私学の社会的役割を問う

新制度が始まって一年余りが経過し、自園の行く末を、いよいよ見定めねばならない時期とはなりながらも、当県はそもそも移行が進まず、従来型の幼稚園にとどまる、という考えが多くを占めています。それでも日々激しく動く情勢の中で、悶々としながら、よりよい子どもの学びの環境を求め、かつ今後の園の姿を想像しながら苦しい日々を送っていることに変わりはありません。小規模保育制度を全く行わない自治体もある中で、社会的な役割としての待機児童対策をも視野に入れるところです。

制度の改革とは別に、教育そのもののあり方や方法については、今一度見直しながら資質の向上を求めようとする中で、定期的な新規採用教員のための研修はもちろんのこと、それを経験ある教員とともに行き、かつ公立幼稚園と合同することで、より高みを目指しています。

同時に、県内の中部と北部ではすでに人材不足が顕著で、採用試験を実施しても応募者そのものが集まらない、という声を多く聞きます。集まったとしても、採用予定者数と同数であった、との嘆きもあります。一方、新制度に移った公立園では、大量採用を実施したところもあり、今後の私学としての対応が迫られます。現在、ネットによる人材バンクを実施して、円滑な人材の流通を試みているところです。

また、従来型の園にとって私立幼稚園の就園奨励費補助金は重要な意味を成しますが、頑として拒否する市もあります。さらに認定こども園の実施を凍結した市もあります。地域の教育に対する熱の違いが自治体ではっきりわかれつつあることも、私学の社会的役割がますます発揮されるべき時であると認識するところです。

((一社) 三重県私立幼稚園認定こども園協会広報委員、桑名市・くわな幼稚園／水谷秀史)

より良い幼児教育を目指して

子ども子育て支援制度がスタートして2年目、兵庫県の私立幼稚園の中でも、新制度への移行園、私立幼稚園として留まる園、それぞれが新たな時代を迎えています。経営形態を異にしている、人間としての人格の基礎を培う最も大切な幼児教育を担っている責任をしっかりと持ち、建学の精神に基づく特色ある保育を実践し、地域に根差した保護者が安心して子育てできる環境となり得るように努力する姿勢は、皆同じです。

本年度、兵庫県私立幼稚園協会では、認定こども園に関する、研修会や要望・振興活動の実施や情報交換・収集の場として、『兵庫県私立幼稚園認定こども園部会』を立ち上げ、加盟する認定こども園の教育・保育並びに子育て支援について支援しています。4月には、全日本私立幼稚園連合会認定こども園委員会委員長の森迫建博氏に、『全国の認定こども園の現状と課題』をテーマにご講演頂き、多くの設置者園長が聴講しました。

また、各認定こども園の決算を分析し、今後の対応を検討しています。

一方、より良い教育の実現には、教員の資質向上と人材の確保が不可欠ですが、昨今就職希望者の減少等、採用については色々な課題が持ち上がってきています。本年度は兵庫県からも補助金をいただき『就職フェア』として、ホテルクラウンパレス神戸で、就職説明会を行います。ポスターやチラシで広く学生の参加を募り、直に私立幼稚園の園長や教員と対話することにより、幼稚園への就職意欲へと結びつけられることを期待します。

子どもたちの健やかな成長を願い、より真摯に幼児教育と向き合っている夏です。

((一社) 兵庫県私立幼稚園協会広報部委員長、宝塚市・宝塚ふたば幼稚園／前田昌子)

(公財) 全日私幼研究機構・賛助会員
(幼児の保護者等) 入会のお願い

「全日私幼連 P T A しんぶん」 をぜひご活用ください

(公財) 全日私幼研究機構では、平成 28 年度の賛助会員(幼児の保護者等)のご入会を受け付けております。賛助会員へのご入会は幼稚園でお取りまとめの上、都道府県団体を経由してお申し込みいただいております。

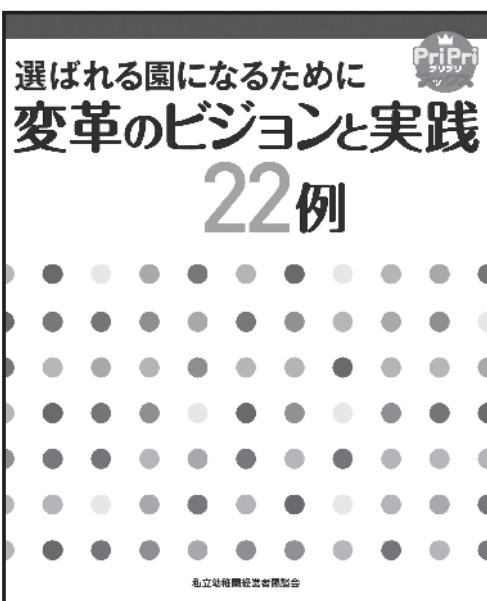
年間会費一口 250 円で、月刊紙(8 月は休刊)として P T A しんぶんを配布しております。入会申込書は各園にお送りしておりますが、本財団のホームページからのダウンロードもできます。

ぜひとも賛助会員へのお申し込みをご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

香川会長が会議等のあいさつの際「研修は私学の鑑」と言われたのを何度も耳にしました。夏休みは、私たち教員が多くの研修会に参加し、自分を高める絶好の機会です。各地区の教育研究大会や第 7 回幼児教育実践学会、各県独自の教員研修会等たくさんの研修会が予定されています。新制度の施行に伴い、開園日数、開園時間、勤務のローテーションなどの関係で研修会への参加が難しくなっているのではないのでしょうか。また、教員全員揃っての園内研修も開けなくなっているのではないのでしょうか。研修という「支え」や「裏付け」なしの保育実践には歪や亀裂が入ってしまう気がします。研修不足を補う新たな手立てをしっかりと考えなければなりません。新制度が子どもたちの最善の利益につながるように、新たな手立てを学ぶことのできる「研修会」に、出来れば全員で参加することが望ましいと思うのですが。

(調査広報編集委員・波岡伸郎)



こども園への移行? 0・1・2歳児保育を導入? 保育の質の向上は?

選ばれる園になるために

～変革のビジョンと実践 22 例～

保育施設の未来がこの本に!

保育施設の“機能と質”を考える。
22 園の変革ビジョンとプロセスを一挙公開。

私立幼稚園経営者懇談会・著

248 ページ/税込 4,320 円

世界文化社刊/4061301

株式会社 世界文化社 ワンダー営業本部
TEL : 03-3262-5128 FAX:03-3262-6121

平成 28 年度（第 7 回）免許状更新講習の認定一覧

●必修領域「全ての受講者が受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
愛知県 名古屋市	「国の教育政策や世界の教育の動向」「教員としての子ども観、教育観等についての省察」「子どもの発達に関する脳科学、心理学等における最新の知見」「子どもの生活の変化を踏まえた課題」の 4 つの事項について、教員に求められる最新の知識・技能の修得と今日的な教育課題についての理解を深めることを目指す。なお、本講習は 11 月 20 日開催の選択必修講習と連続して行うものです。	上田敏丈（名古屋市立大学大学院人間文化研究科准教授）	6 時間	平成 28 年 11 月 19 日	70 人	平 28-80012-100968 号

●選択必修領域「受講者が所有する免許状の種類、勤務する学校の種類又は教育職員としての経験に応じ、選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
愛知県 名古屋市	学校、家庭ならびに地域の連携及び協働について教員に求められる最新の知識に知識・技能の取得と今日的な教育課題について理解を深めることをめざす。なお、本講習は 11 月 19 日開催の必修講習と連続して行うものです。	山口雅史（椋山女学園大学人間関係学部教授）	6 時間	平成 28 年 11 月 20 日	70 人	平 28-80012-301742 号

●選択領域「受講者が任意に選択して受講する領域」に関する免許状更新講習

講習の開催地	講習の概要	担当講師	時間数	講習の期間	受講数	認定番号
北海道 帯広市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広く深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	二宮信一（北海道教育大学釧路校教授）、工藤ゆかり（帯広大谷短期大学講師）	6 時間	平成 28 年 10 月 1 日	50 人	平 28-80012-507487 号
北海道 札幌市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広く深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	高橋真由美（藤女子大学人間生活学部保育学科准教授）	6 時間	平成 28 年 10 月 28 日	150 人	平 28-80012-507488 号
北海道 北見市	「保育現場での質を高める」、「幼稚園の役割を広く深める」の 2 つの事項について理解と実践をふり返り、応用力をつけ保育現場における現代的な課題に関する知識と理解を得ることを目指す。また、幼稚園教諭免許状の更新者に焦点を当てた内容としている。	若月芳浩（玉川大学教育学部乳幼児発達学科教授）、松井亜樹（札幌大谷大学短期大学部保育学科講師）	6 時間	平成 28 年 10 月 30 日	50 人	平 28-80012-507489 号
茨城県 水戸市	はつきりと障害があるとは言えないが教員が保育をされていて気になる子どもが各園に在園していると思われる。個性として認めながらも援助や支援に工夫の必要な子どもを本講習で取り上げ、具体的にどう保育をしていくことが大切か考えていく。また保護者に対しての支援等についても考えていきたい。	飛田隆（茨城キリスト教大学文学部児童教育学科准教授）	6 時間	平成 28 年 11 月 20 日	80 人	平 28-80012-507490 号
東京都 新宿区	戸田・東京家政大学、箕輪・川村学園女子大学から、これからの幼稚園教育の在り方について講演頂き、①現在の子どもの置かれている状況②保育現場に於ける対応の仕方③自分の保育をいかに評価し、どう深めていくか④保育の質とは何か等の講義を受け、また参加者同士の討論を通じて、いずれも自らの問題としての理解を深め、実践力をつける講習とする。	戸田雅美（東京家政大学教授）、箕輪潤子（川村学園女子大学准教授）	6 時間	平成 28 年 11 月 19 日	150 人	平 28-80012-507491 号
長野県 松本市	森本からは「自然こそ最高の教師」をテーマに幼児期の環境教育が他者を思いやる心を育むこと、澤田からは子どもの自主性を尊重する理念で展開されている「オランダの幼児教育」、佐藤からはベネズエラの国家的音楽プロジェクト「エルシステム」の講義を通じて、自らの理解を深めることをねらいます。	森本健一（信州豊南短期大学学長）、澤田裕之（信州豊南短期大学幼児教育学科専任講師）、佐藤雄紀（信州豊南短期大学幼児教育学科助教）	6 時間	平成 28 年 11 月 26 日	90 人	平 28-80012-507492 号
愛知県 名古屋市	幼児期の特性と幼稚園教育の役割／ ①幼稚園教育要領に示されている五領域の意味を考える。 ②幼児の主体的な活動と環境の構成について考える。 ③教師の役割について考える。	齋藤善郎（豊橋創造大学非常勤講師、林丘幼稚園理事長）	6 時間	平成 28 年 12 月 3 日	70 人	平 28-80012-507493 号
香川県 高松市	本講習は、子どもたちの言葉の世界を教育学の観点から捉え、そして保育記録を工夫することにより、幼児を理解する力や保育を構想し実践する力を磨く。さらに、現代の保育実践の課題を整理し、理論的・実践的に検討することで、幼稚園教員としての専門性を高める。	加藤繁美（山梨大学教育学部教授）	6 時間	平成 28 年 10 月 28 日	35 人	平 28-80012-507494 号



「くるんとバス」はスマートフォン・タブレットの GPS 機能を活用したシステムで、バスの運行情報や到着メール・ルート作成等を提供するクラウド型サービスです。

バス専用機不要！
スマホで簡単バス運行管理！

いつもNAVI

「いつも NAVI 動態管理サービス for 送迎バス（くるんとバス）」は、株式会社ゼンリンデータコムに登録商標です。



株式会社 **チャイルド社**

インターネット課

TEL.03-5370-7497 〒167-0052 東京都杉並区南荻窪4-37-15

ホームページアドレス <http://www.child.co.jp/>